

ODAWARA

2015年12月期(第37期)  
**第2四半期決算説明資料**

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2015年8月13日

**ODAWARA ENGINEERING CO., LTD.**

# 経済の動向

## 《我が国の経済》

- ・企業収益や雇用情勢は改善傾向
- ・個人消費は持ち直しの兆しがみられる
- ・全体として緩やかな回復基調が続いた

## 《世界経済》

- ・(中国)景気の拡大テンポは一段と緩やかになる
- ・(米国)弱めの動きもみられるものの、景気は回復が続いた
- ・(欧州)景気が持ち直した
- ・(全体)緩やかに回復

## 《営業成績》

(単位:百万円)

指標	実績	前年同 四半期比	増減要因
売上高	4,559	19.1%増	▶ 国内外で積極的な営業活動を展開
営業利益	254	—	
経常利益	336	—	
四半期 純利益	207	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特別利益として投資有価証券売却益を計上</li> <li>▶ 特別損失として厚生年金基金脱退損失を計上</li> </ul>

※前年同四半期は、166百万円の営業損失、209百万円の経常損失及び186百万円の四半期純損失

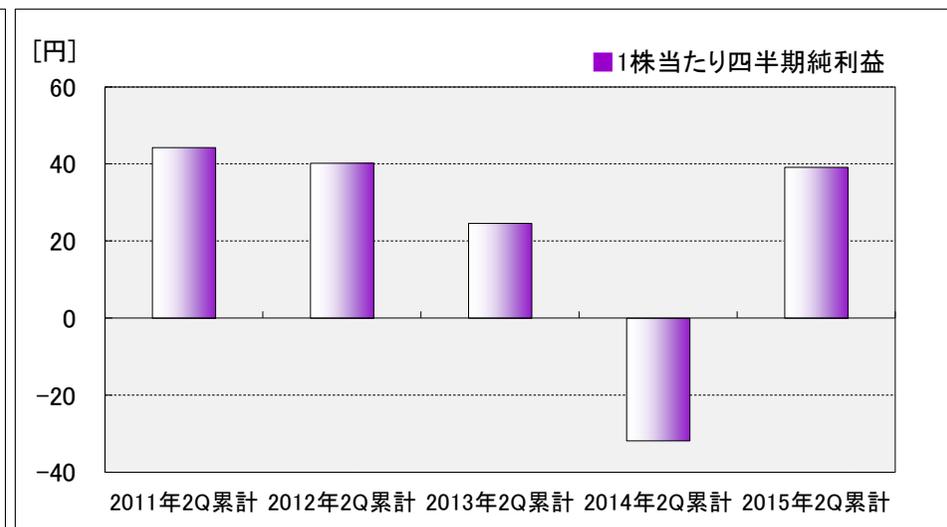
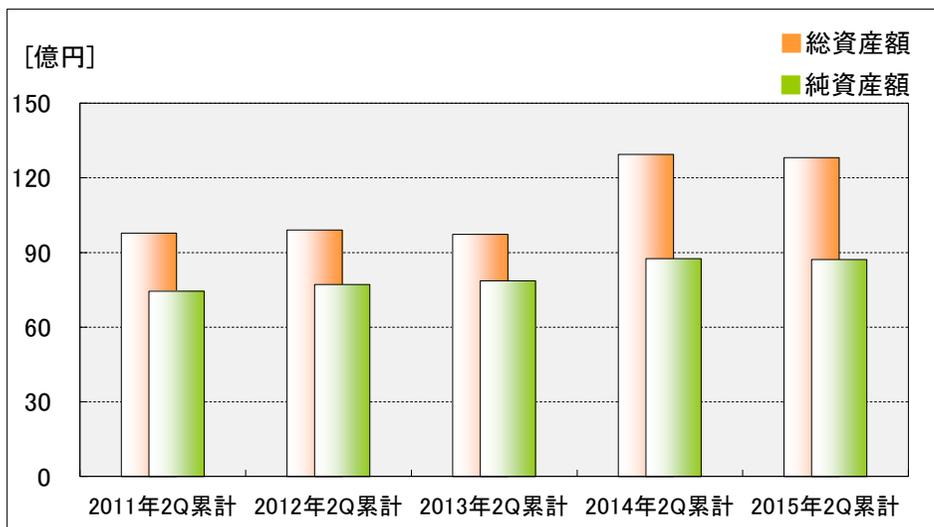
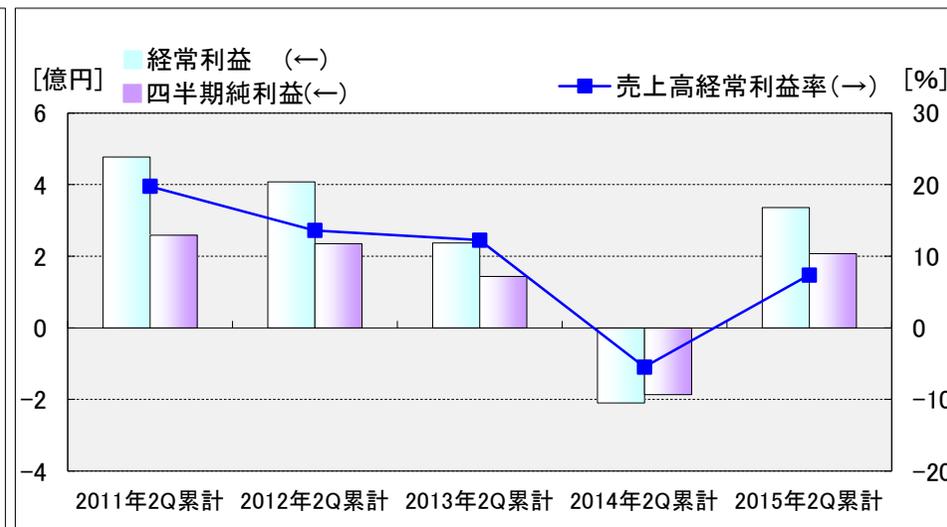
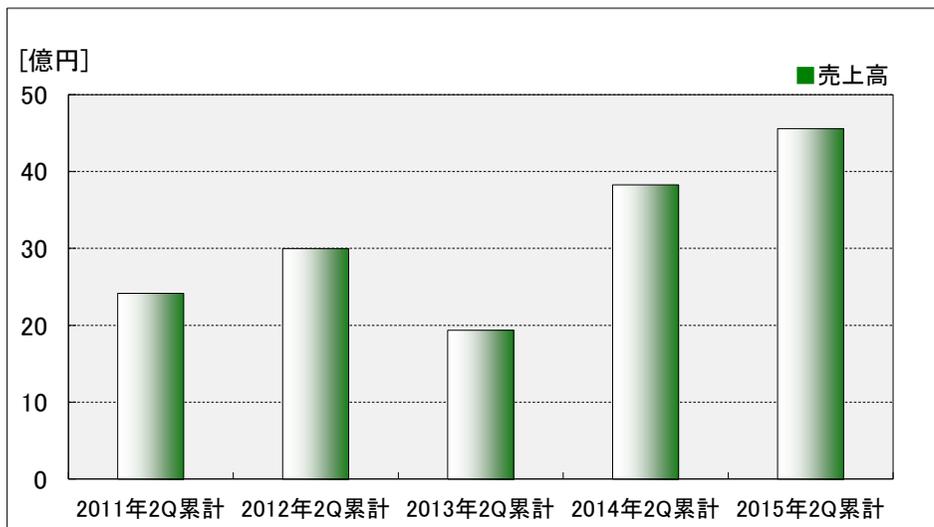
# 連結セグメント業績概要

## 《セグメントの業績》

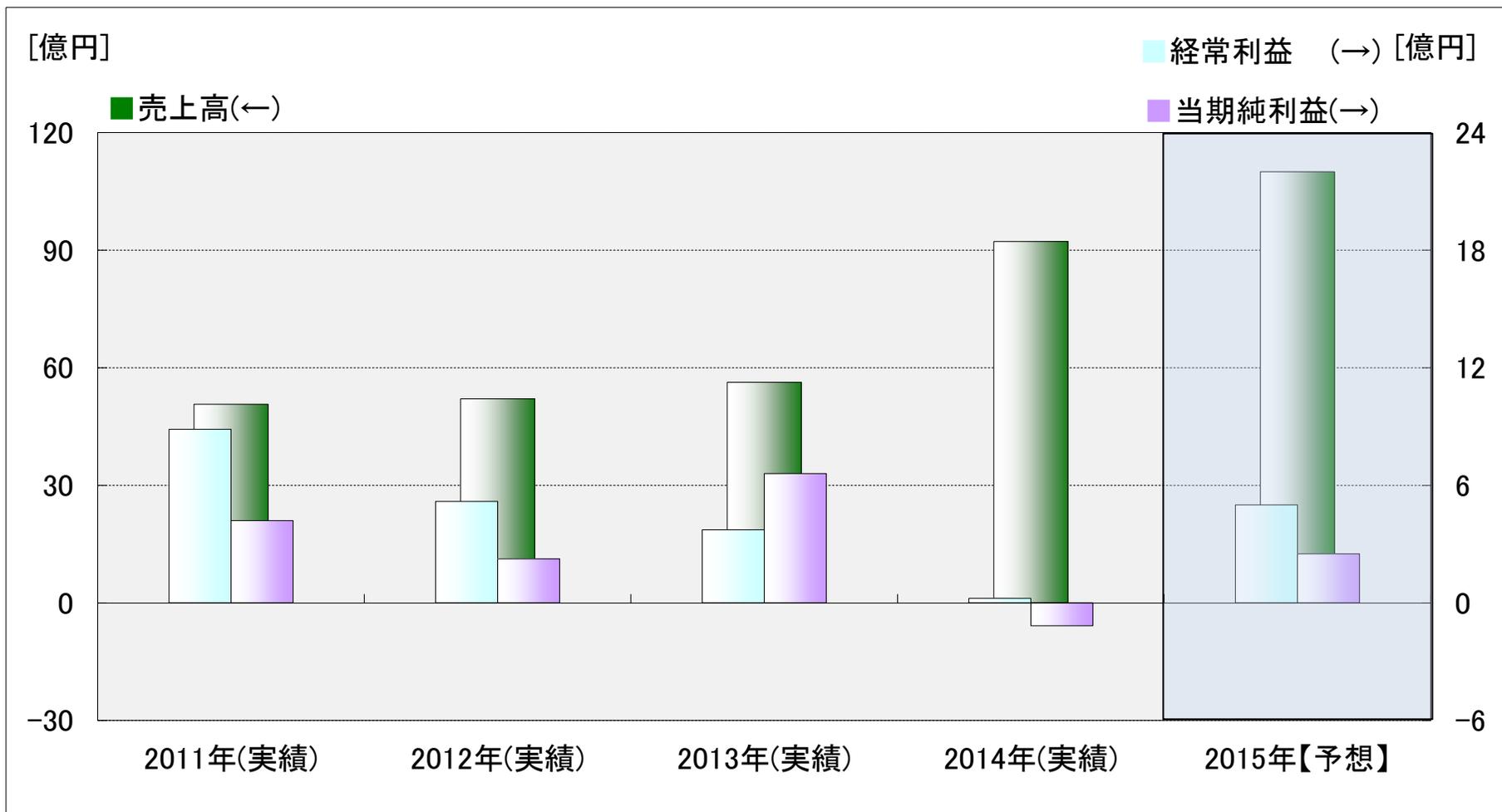
(単位:百万円)

セグメント		実績	前年同 四半期比	増減要因
巻線機事業	売上高	2,482	36.9%増	➢ 一部の大型案件の売上が翌四半期以降にずれ込む ➢ 生産効率の向上等により原価低減が図られる
	セグメント利益	347	—	
送風機・住設 関連事業	売上高	2,057	3.2%増	➢ 輸送・工作機械業界の順調な回復 ➢ 中国市場の工作機械向け軸流ファンの生産増加等 ➢ 住宅着工件数の減少が続く ➢ 円安による原材料価格の上昇
	セグメント利益	21	63.1%減	
その他	売上高	18	8.4%減	➢ 企業再生支援事業による
	セグメント利益	9	—	

※巻線機事業における前年同四半期は88百万円のセグメント損失、その他における前年同四半期は2百万円のセグメント損失



	2011年第2 四半期累計	2012年第2 四半期累計	2013年第2 四半期累計	2014年第2 四半期累計	2015年第2 四半期累計
売上高（百万円）	2,417	2,999	1,937	3,828	4,559
経常利益（百万円）	477	408	237	▲ 209	336
四半期純利益（百万円）	259	235	143	▲ 186	207
純資産額（百万円）	7,449	7,718	7,866	8,758	8,722
総資産額（百万円）	9,783	9,908	9,734	12,947	12,817
1株当たり四半期純利益（円）	44.26	40.21	24.60	▲ 31.81	39.15
売上高経常利益率（%）	19.8	13.6	12.3	▲ 5.5	7.4



# 決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものであります。今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

① 株式会社 小田原エンジニアリング